

地域における取組例【環境・エネルギー分野】高い浸透力と保水性を兼ね備えた舗装材「くりんかロード」を国内及び海外へ

(株)くりんか
(福岡県宗像市)

- 石炭火力発電所から排出される石炭灰を有効利用し、舗装材として利用する「くりんかロード工法舗装」を製造・販売。
- マレーシア、ベトナム、モンゴルなど積極的に海外展開にチャレンジ。

ポテンシャル
(強み)

- 九州地域は、環境汚染と公害克服の経験から、環境技術・ノウハウが蓄積されており、省エネ、リサイクル等の環境分野の産業が多数集積。
- さらに石炭火力発電の依存度が高いマレーシアやベトナムなどのASEAN諸国とも距離的に近接。

取組内容

- マレーシア、モンゴル、台湾等における、「くりんかロード工法舗装技術（ライセンス）」販売の個別支援
- 九州の枠を超えた広域マッチング事業等を活用した、国内大手企業へのアプローチ支援。

連携体イメージ

【プロジェクトマネージャー】
嶋田駿一
(一財)九州産業技術センター
K-RIP プロジェクトマネージャー)

【事業管理機関】
(一財)九州産業技術センター

(株)くりんか

資本金： 40百万円
売上高： 224百万円
従業員数： 15名

【想定連携先】
JETRO、JICA、海外現地
コーディネーター等



<活用事例>



<クリンカアッシュ>



<クリンカロード（断面）>